

# 画論 The Best Image 2014 に参加して

社会福祉法人 函館厚生院 函館中央病院 駒野圭史

まずはこの場をお借りして、このような機会を与えていただきました遠友 ser 会の世話人の皆様、東芝メディカルシステムズ株式会社の皆様に感謝申し上げます。

昨年の画論 The Best Image 2013 では後輩が優秀賞を頂き、2014 年は先輩の意地を見せねばと意気込んで応募した画像が上位入賞との連絡を受け、大変興奮いたしました。また、当院では 2014 年に AquilionONE(GS)が導入され、稼働前より Dual Energy CT を使った画像解析に興味があり、「画論 2014 では必ず Dual Energy CT で！！」と思っておりましたので喜びも一入でした。

しかしながら参加前日、函館は大雪に見舞われ、飛行機が次々と欠航・・・、参加できないものと涙を流しておりましたが、空港で待つこと 6 時間、普段の行いのおかげか、一瞬の晴れ間を狙って飛行機が飛ぶことが出来ました。

この場をお借りして、空港との対応に尽力いただいた函館脳神経セントラルクリニックの砂子様には厚く御礼申し上げます。

さて、発表演題は僭越ながらトリ（発表順番が近づくにつれて手から汗が滲み出てくる・・・）を務めさせていただきました「脊椎破裂骨折」で Dual Energy CT を用い、水・骨の基準物質画像でした。審査いただいた先生方におかれましては、日常業務多忙なところ審査いただき、選出いただきましたこと、誠に感謝申し上げます。

昨今の RSNA でも Dual Energy を用いた画像解析が出てきておりますが、今後は私も画論で発表させていただいた内容で研究を重ねていきたいと存じます。

画論会場内の東芝アプリの方々からは目の付け所が良かったと高評価を頂いておりましたので「もしかしたら？最優秀賞??」なんて淡い期待をしておりましたが、残念ながら最優秀賞とはならなかったもので、この悔しさをばねに「次こそは最優秀賞を受賞してやる！！」という意気込みが芽生えてきました。

これからも一層精進していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく御願い致します。

次回こそ、最優秀賞目指してがんばるぞ～！！